

感染による 下痢と食中毒

～東南アジアでコレラに挑む～

日時：2018年11月10日(土) 12:45～14:45

場所：テレコムセンタービル(東京お台場)
8階会議室C(出展番号138)

実はコレラはかつて日本で流行したこともあるのをご存知ですか？
感染症は単なる微生物感染の結果ではなく、
貧困や社会インフラの未熟、戦争など
様々な社会的・文化的要因が背後にあります。
感染症を通じて、世界の様々な問題について、考えてみましょう。
安心・安全とされる日本が、また違った観点で見られるかもしれません。

大阪大学微生物病研究所

日・タイ感染症共同研究センター — 岡田 和久 / 浜田 茂幸
細菌感染分野 ————— 飯田 哲也

感染症は人類の歴史において、社会的・経済的・文化的様々な面で大きな影響をあたえてきました。特にグローバルに人々が行き交う現代において、感染症は国境を超えて世界的な問題となっています。このような感染症対策は一つの国だけでなし得るものではありません。微生物病研究所では、タイに研究拠点を設置し、感染地域での感染症対策・研究に取り組んでいます。

今回は、タイ・ミャンマーで実施してきたコレラ菌など熱帯感染症の野外調査や研究成果を例に、参加者の皆さんと感染症とそれを取り巻く問題について考えます。

